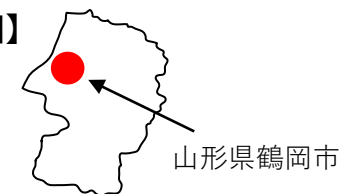


山形県鶴岡市（市立農業経営者育成学校（SEADS））における新規就農者確保の取組

- 庄内平野での水稻と園芸品目（枝豆やメロン、柿など）が大きな割合を占める穀倉地帯
- 農業従事者の高齢化と減少が進んでおり新規就農者の育成・確保が急務であるため、令和2年に社会人向けの農業研修施設「鶴岡市立農業経営者育成学校（SEADS；シーズ）」を開校
- 令和7年度から、農地の受け手確保に向けた新規就農者誘致環境整備事業を活用し、知見を有する事業者とともに新・農業人フェアにブース出展することで、効果的な募集活動を実施

【位置図】



取組前

- 地域人口が減少（5年間で約9,000人）している中で、新規就農者を地元から多数確保していくことは難しい
- SEADSの開校当初は地域外からの1ターン者が入校者の約6割を占めていたが、近年はUターン者や地元在住者の割合が増加してきているため、地域外でのPRが必要

取組内容

- 新・農業人フェアに本市のブース出展するにあたり、知見を有する事業者を活用することで、就農希望者に入校のメリットや本市の魅力等を効果的にPR

【新・農業人フェアの様子】



取組後(成果)

- 新・農業人フェアへのブース出展など募集活動を強化したことで、R8入校に13名の出願があり、うち地域外からの1ターン者が4名入校する見込み

【SEADS入校者数の推移】

	R5	R6	R7	R8
入校者数	7	8	9	13
Iターン	1	1	2	4
Uターン	1	5	2	5
地元在住	5	2	5	4

【誘致体制】

- 鶴岡市と地域内の2つのJA、4つの教育機関、民間企業で「農業の人材育成・確保に関する協定」を締結し、各主体が各々の強みを活かしながら役割を果たしている

【協定参加者】

- 構成団体：鶴岡市、JA、教育機関（高校・大学等）、民間企業 計8団体
- 主な役割：研修全般の企画・運営
座学研修の実施
農地・機械等の取得支援
施設の運営管理 等

【オブザーバー】

- 構成団体：市農業委員会、山形県、やまがた農業支援センター、新規就農者研修受入協議会
- 主な役割：農地の斡旋
就農後の定着支援
（現地巡回・助言指導）

新規就農者や研修生の声

- ホームページ等でSEADSに興味を持ち、新・農業人フェアに参加したところ、ブースで入校のメリットや鶴岡市の魅力などの説明を受け、入校への思いが強まった

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 鶴岡市農林水産部農政課

TEL：0235-25-2111

E-mail：nosei@city.tsuruoka.yamagata.jp

HP：https://tsuruoka-seads.com/